

伊万里港と阪神港が覚書を締結 『ブルーアライアンス港』として連携強化

伊万里迎賓館で、伊万里港と阪神港による『ブルーアライアンス港』提携に関する覚書の締結式が行われました。これは、両港が連携し、コンテナ貨物の取扱量の増加や物流機能の強化を図るために行われたものです。この日は、佐賀県伊万里港振興会の今泉清美会長と阪神国際港湾株式会社の本戸貴文社長が覚書を取り交わしました。今後は、国際フィーダー定期航路の活用やポートセールス、情報共有などを通じて連携を強化し、コンテナ貨物の集荷拡大や両港のさらなる発展が期待されています。



覚書を締結した今泉会長（左）と本戸社長（右）

『伊万里梨』の初出荷 伊万里が誇る特産品が全国へ

大川町の JA 伊万里梨選果場で『伊万里梨』の選果開始に合わせて神事が行われました。これは、今季の豊作と作業の安全を祈願するために毎年行われているものです。この日は、ハウスで栽培された令和8年産の『幸水』約1.2トンが、大きさや形、色合い、糖度を基に選別され、東京・大阪の市場へ初出荷されました。今後は『幸水』『豊水』『あきづき』『新高』と品種を変えながら、11月頃まで出荷され、多くの人に伊万里自慢の味が届けられます。



作業員は、選果機にかけられた『幸水』の大きさや形、色合いなどを一つ一つ丁寧に確認していました

寄付金の受納・感謝状の贈呈 松尾勝馬さんが9年連続9回目の寄付

市役所で、松尾勝馬さんからの寄付金の受納および感謝状の贈呈が行われました。これは、松尾さんが伊万里牛の畜産振興や地域資源循環型農業などに役立ててほしいと、市へ毎年寄付を行っているものです。松尾さんは、平成30年から毎年1,000万円を寄付していて、今回で9年連続9回目となります。この日は、市から感謝状が贈られ、松尾さんは「目標としていた10回の寄付も9回目となったが、目標を持つことは大切」と話しました。



市から感謝状を受け取った松尾さん（左）

市×森永製菓イベント第10弾 『キョロちゃん』と『いまりんモーモちゃん』が登場

マックスバリュ伊万里駅前店で、市と森永製菓株式会社九州支店によるイベントが開催されました。これは、森永製菓の創業者・森永太一郎氏の生誕地が本市であることから、市と森永製菓が連携して取り組んでいる事業の第10弾として開催されたものです。この日は、塗り絵や輪投げゲームなどのコーナーが設けられ、多くの家族連れでにぎわいました。また『キョロちゃん』と『いまりんモーモちゃん』が登場すると、子どもたちは笑顔で出迎えていました。



キョロちゃんといまりんモーモちゃんは子どもたちに大人気でした